

# 井草会報

2018  
NO.51

発行 井草会  
練馬区上石神井2-2-43  
東京都立井草高等学校内

## 「一期一会」ー井草の絆をつなげてー

昨年の8月19日（土）に池袋ホテルメトロポリタンにて「2017同窓会」が開催されました。当日は、恩師・来賓の方々をはじめ、傘寿の招待学年、古希世代・還暦世代から卒業30年・20年・10年の記念学年まで総勢380名の参加者が会場に集いました。

傘寿（80歳）の招待学年と卒業10年の記念学年の年齢差は、半世紀を超えています。世代を超えた同窓生が一同に揃った会場には、それぞれの世代を懐かしく思い出せる曲がBGMとして流れ、高校時代の集合写真や行事写真が大画面にスライドショーで映し出されました。自分たちの写真が映し出される度に、画面を指差しながら、にぎやかな歓声があちこちで沸き上がりました。

祝辞の中で有明校長先生が紹介して下さった、書道部生徒の筆による「一期一会」



の言葉通り、井草のキャンパスでの出会いを大切に過ごしてきた同窓生たちの笑顔が会場にあふれました。美味しい料理とお酒、楽しいおしゃべりであったという間に時は流れ、最後に全員で校歌を熱唱し、互いに再会を約束し合いながら散会となりました。

井草会では、次回の「2019同窓会」へ向けて今年度も準備を進めていきます。同窓生の皆様のご参加を心よりお待ちしております！



2017同窓会



### 【井草豆知識】 ご存知でしたか？ 校歌の由来

井草には、高等女学校と現高等学校の2つの校歌があります。作曲者は、高等女学校が山田耕筈氏、現高等学校は芥川也寸志氏です。作詞は共に土岐善麿氏によるものです。

作詞に当たって、土岐氏は井草の地を訪ね、女学校校歌には千川上水堤の八重桜や農家の杜に生い繋る樺、そして遠富士の姿を、現校歌には環境整備のために校庭に植えられた八重桜や公孫樹、ツツジなどを織り込みました。

現校歌の「ああ井草～」のフレーズは、新しい時代への息吹を映し、井草の讃歌となり今も歌い継がれています。井草生にとって、新入生を迎える八重桜が咲きわたる光景は、校歌とオーバーラップする心象風景となっているのでしょうか。

（歌詞はホームページ参照）



### 目次

2017同窓会報告・校歌の由来	1	クラブ活動めぐり	11
同期会・クラス会・OB/OG会報告	2～5	フレッシュ卒業生の紹介	12
恩師からの便り	6	会員からの便り	13
特別インタビュー(手塚 雄二さん)	7	井草会会計・監事インタビュー	14
OB/OGインタビュー(茅野 徹さん)	8	幹事総会報告・予算決算	15
キャンパスニュース	9・10	井草会掲示板	16

# 2017年度 同期会・クラス会・OB/OG会 報告

紙面の都合により一部原文を短く編集しています。

## 同期会



### 高校17回(昭和40年卒)同期会

2017年11月18日 新宿 三井クラブ

2年前に古希の記念学年の同窓会で集まって以来の同期会。会場は高層ビルの54階という絶景のスポットでおいしい料理や飲み物も用意されていましたが、景色よりも楽しい思い出話や近況報告に花が咲き、予定の時間はあっという間に過ぎました。最初はお互い顔がわからない人もいましたが、最後には同じ井草高校で育った仲間として、楽しいひと時を過ごすことができました。最後に、お互い健康に留意して、今後の再会を祈念してお開きとなりました。(B組 西田 寛)



### 高校18回(昭和41年卒)同期会

2017年8月19日 池袋西口 銀座ライオン

古希の記念学年として同窓会へ参加した後、二次会で同期会を開催しました。古来希なる年のせいか、立食スタイルの一次会はかなり脚にこたえた方も多く、椅子席の二次会ではじっくり腰をすての歓談となりました。隣り合い、向かい合った同期の仲間と思い出話や近況を語り合い、あっという間に2時間が過ぎました。次回は、「傘寿まで待てない同期会」での再会をと約束し合い散会となりました。(E組 中村啓子)



### 高校20回(昭和43年卒)同期会

2017年4月22日 アサヒグループ本社ビル22階

卒業後50年という大きな節目の同期会に北は青森、南は大分から114名もの多くの参加者が集いました。前半はクラスごとに席を作り、卒業以来の顔を見て、判る様な判らない感じがして時間が過ぎるごとに高校時代に戻って違和感なく話していました。後半はクラスを横断して好き勝手に集い、話の花を咲かせていました。最後にお決まりの校歌を皆で合唱し懐かしさを噛みしめての長い様で短い4時間でした。(F組 初山貴世子、E組 藤岡明徳)



### 高校27回(昭和50年卒)同期会

2017年8月19日 池袋ホテルメトロポリタン

卒業から42年、互いに顔を合わせた瞬間は「初めまして…」と思わず会釈を交わしそうな「見知らぬ同士??」が、名札に目を留めるや否や、一瞬で、懐かしさと思いの噴出に、はしゃぎ、笑いまくり!! 高校時代の写真145枚からなるスライドショーの上映では、スクリーンをみんなで囲み、過ぎし時空へとしばタイムスリップ。記念撮影の後、気合十分の一本締めで10年後の再会を誓い合い散会となりました。(F組 鎌形香代子)



### 高校31回(昭和54年卒)同期会

2017年8月19日 池袋ホテルメトロポリタン

同窓会に続いて、藤井氏の司会で幕を開けました。乾杯の後、歓談となり、各テーブルでは、近況報告や、昔話に花が咲き、大きな盛り上がりを見せていました。その後、全員がテーブルを移動して、入学当時のクラスで集まったの歓談となり、今度は入学当時の話などに大盛り上がり。楽しい時間は、あっという間に過ぎるもので、宴もたけなわ中、同窓会委員長の田村氏より、同窓会の報告と、締めめの挨拶でお開きとなりました。(B組 沼田純明)



### 高校37回(昭和60年卒)同期会

2017年8月19日 池袋ホテルメトロポリタン

同窓会の開催後に池袋メトロポリタンホテルにて同期会を開催しました。84名の参加で楽しいひと時を過ごすことができました。今回は平岡、村本、宮崎の3名の先生方にご参加いただき、近況報告も交えながら会場内は高校時代の思い出話に花が咲きました。記念学年であった2015年に時間を掛けて連絡先を確認したおかげで、今回の事前準備は比較的スムーズに実施することができました。今後も定期的に同級生の再会の場を設けることができると感じました。(H組 木村礼夫)



### 高校38回(昭和61年卒)同期会

2017年9月16日 池袋 グレースバリ

台風接近の影響も心配される中、先生方5名、北海道や関西など遠方から駆けつけた方も含め、約120名のご参加を頂きました。乾杯の前には先生方のご挨拶やメッセージが読み上げられ、皆が生徒に戻ったかのようなひと時でした。在校時の体育祭や文化祭の映像と懐かしい音楽が流れる中、歓談を中心に始まり、会場からの特典「リムジंकルーズチケット」争奪ジャンケン大会などで大いに盛り上がりました。最後は全員で校歌斉唱、還暦記念同期会での再会を約束してお開きとなりました。(G組 高村一恵)



### 高校40回(昭和63年卒)同期会

2017年8月19日 池袋 パセラリゾーツ

卒業後30年の節目の同窓会開催日に同期会を実施しました。当日は、同窓会で1期上の先輩とも会うことができ、非常に有意義な時間を過ごせました。同期会では、ただ集まるだけの会でしたが、それだけでも、あっという間に時間が過ぎてしまいました。このような機会がないと、この規模で集まることは、なかなか難しかったので、井草会同窓会委員会の皆様には、とても感謝しております。(E組 水野 弘)



### 高校60回生(平成20年卒)同期会

2017年8月19日 池袋Mace

「同窓会に君たちの学年で何人かまとめて参加するのなら、俺も参加します」と一通のメール。恩師熊倉先生からの連絡でした。「せっかく集まるなら学年全員に声をかけよう！」これが今回の同期会のきっかけです。当日は料理もドリンクも全て自分たちで用意しました。シェフやバーテンダーとして活躍している同期に腕を振ってもらったのです。美味しい料理とお酒で会話も弾み、本当に楽しくあっという間に時間が流れていきました。大成功です。きっかけをくれた熊倉先生、手伝ってくれたみんな、ありがとう！！(G組 藤田 基)



### 高校7回(昭和30年卒)C組

2017年8月19日 池袋ルミネ

今年は傘寿で2017同窓会に無料で招待をいただき、これを機会にクラス会を計画しました。久々に12名が集まり、沢山で馳走をいただいたので、お茶をしながら「今後のクラス会について」をテーマに話し合いました。全員から「ご招待に感謝」の声があがり、お礼と賞賛の声は尽きませんでした。話は弾みましたが、「来年は、6月第2火曜日に吉祥寺で」と約束して解散しました。(中井淑子)

クラス会



### 高校8回(昭和31年卒)B組

2017年7月7日 新宿 銀座ライオン

参加者20名、傘寿を祝いました。それぞれの近況報告には年相応の重みを抱えつつも、趣味や配偶者・孫の世話に自分の役割を果たしている嬉しさが伺えました。担任の小澤芳子先生(25年逝去)の傘寿祝会の記念誌「年輪」を持参した方があり、自分たちもその歳になったことに感慨一入。「これからもガンバリましょう」と来年の七夕に逢うことを願って散会。(町野嘩子)



**高校11回(昭和34年卒) A組**

2017年8月6日 西荻窪「こけし屋」

喜寿を迎える節目の年でもあり、北は北海道、西は名古屋から15名の出席者がありました。卒業以来初めて会う方も懐かしい高校時代を思い出し直ぐに和気藹々。近況報告では、出席者それぞれがこれまで長い人生をしっかりと歩んできた様子が伺えました。2次会は、カラオケ会場に移し、そこでも歌ったり、懇談したりの楽しい1日を過ごしました。(白水敏夫)



**高校12回(昭和35年卒) E組**

2017年9月3日 新宿エルザ

14人の出席で「数え喜寿の記念クラス会」を行いました。いつもこの会を楽しみにしておられた恩師小田島先生が長期入院中で欠席されたのは残念なことでしたが、まずは趣味でジャストランペットを現在も演奏している級友の追悼の曲で亡くなられた方々に黙祷。その後それぞれが近況を話しあいました。途中、「ひまわり」「My Way」などのランペット演奏や独唱の飛入りもあって和やかな楽しい3時間があったという間に過ぎました。(関 基治)



**高校14回(昭和37年卒) E組**

2017年10月18日 ホテルグランドアーク半蔵門

亡くなられた大澤先生と5名の仲間たちへ黙祷を捧げた後、2016年11月に中川秀直氏が「旭日大綬章」を受章されたことをお祝いしました。その後、欠席者全員の近況報告を披露しましたが、本人や伴侶の体調不良がほとんどでした。会食後、「くじ引き大会」で盛り上がり、銀の装飾品製作で師範の資格を持つ河合さんが、女性全員分を製作して下さり花を添えました。(林 健一)



**高校15回(昭和38年卒) D組**

2017年5月18日 新宿 畑の厨 膳丸

担任の古屋先生は数年前にお亡くなりになり一抹の寂しさがありますが、出席したクラスメートの仲間達19名は、72歳を過ぎてもみんな元気いっぱい近況報告の場面でもそれぞれのエピソードや孫達の話題等で楽しいひと時を笑いの絶えないなかにひと時を過ごしました。今後とも井草会にはお世話になりますが宜しくお願い致します。(瀬戸山邦二郎)



**高校18回(昭和41年卒) G組**

2018年3月31日 新宿G-style Black

昨夏の「2017同窓会」に集まったクラスメートから、別途クラス会を開こうとの意見が出て、クラス全員が「古希」に達する今年の3月末に企画しました。当日は、遠方から参加してくれた方もあり、皆の古希の祝いとこれからの健康を祈念し乾杯しました。何年か振りの再開に楽しい時間を共有し、あっという間に予定の二時間が過ぎてしまい、健康でまたの再会を願って散会しました。次回は喜寿の集いかな？(南部雅男)



**高校19回(昭和42年卒) G組**

2017年8月19日 池袋

二年前に亡くなったクラスメートを偲んで献杯から開始し、その後は和気藹々と歓談し、楽しい三時間を過ごしました。最後に、各自から、近況報告や毎日をどのように過ごしているのか話して貰いました。今後、更に有意義な高齢者生活を目指そうとしているわれわれには、お互いの話が大変参考になりました。来年の同期会での再会を期してお開きとしました。(福地唯三)



**高校21回(昭和44年卒) D組**

2017年10月28日 新宿パセラルリゾート

10年振りのクラス会。今回、参加者も健康状態がよい人たちだけではなかったので改めて、年齢を意識するクラス会となりました。しかし10年振りということで話題は多方面に亘り盛り上がり3時間の会は話だけでアツという間に散会の時間となりました。次回は2019年古希の記念学年同窓会の時に今回以上の人数で再会をすることを誓い散会しました。(植木 謙)



**高校25回(昭和48年卒) D組**

2017年7月15日 池袋パセラルリゾート

2年振りのクラス会を開催。今回は前回よりも3名多い出席者となり、中には卒業以来の方もおり旧交を大いに温める事ができました。また、高校2年の井草祭に出展した8mm映画が発見され、それをDVDに焼き直し会場で放映し、懐かしい高校生活を思い出しました。同時に高校時代の写真もDVD化して映写しました。映画や写真の効果もあり？皆の変貌ぶりで大いに話が盛り上がりました。思い出話に花が咲き三次会まで宴は続きました。(坂本 茂)



**高校26回(昭和49年卒) E組**

2017年8月19日 池袋 座・和民

担任の廣川先生をお迎えし、クラスメート20名が集いました。近況報告では、仕事はスローダウンしながら、日々の生活も楽しんでいる人、やっぱり現役と同じように働いている人、遠方の欠席者の報告では、オランダで声楽の道で活躍している人、フィジーのシニアボランティアで貢献している人などさまざまでした。高々2年間同じ教室で過ごしただけなのに、なぜか心置きなく楽しく過ごせる仲間と、次回また会えることを楽しみにしてお開きとなりました。(菊池のり子)



### 高校28回(昭和51年卒) B組

2017年10月7日 京橋 かなえ

還暦を祝いクラスメイト32人が集まりました！鬼籍に入られた担任の滝山先生と二人の仲間を偲んで当時クラスで回していた落書き帳二冊の複製を人数分製本し記念品としました。時間が止まった様なタイムカプセルを開けたようなひと時でした。またもう一つのお土産は井草の校章と讃美(3B)がデザインされたチロルチョコ、これも好評でした！ (竹田朋子)



### 高校28回(昭和51年卒) 1年G組

2017年11月11日 六本木パセラリゾート

1年生時のクラス会で、平成16年に恩師である故三柳将明先生の肝いりで始まった会です。ここ5年間は毎回20名を超える参加者で盛り上がっています。今回は還暦年度でもあり、卒業以来の初参加者も3名加わり25名での開催でした。年相応の定年・年金・介護・孫等の話題に花を咲かせ、六本木という自分達世代に似合わない場所でしたが、会場の移動もないままに5時間半に亘っての盛大な会となり、また来年の再会・開催を確認して閉会となりました。(小原 久)



### 高校33回(昭和56年卒) B組

2017年9月9日 飯田橋バルカフェ

例年、学年会の後にクラス会を実施していましたが、今回は時期をずらして開催しました。卒業後、既に40年近くなり、気が付けば50半ばに達しましたが、あの青春時代にタイムスリップしたように盛り上がりました。今回は女性参加者が男性参加者と比べ少なかったものの久しぶりに参加された方もおり、旧知を深め、高校時代の思い出話しや近況について楽しく語りあうことができました。

(吉田圭一)



### 剣道部OB/OG会

2018年2月3日 新宿アサヒスーパードライ

幹事より過去1年間の活動報告の後、S35年卒の曲尾先輩により、物故者への献杯のご発声をいただき会がスタート。年次にかかわらず席が入り乱れての懇親ののち恒例の近況報告があり、それぞれに質疑応答(掛け合い?)が続き大いに盛り上がりしました。最後に新会長のS50年卒の森永さんからの抱負と先輩方からの激励ののちS39年卒の小林先輩の中締めにより大いに盛り上がった会を閉会いたしました。(19G 磯部孝夫)

OB・OG会



### 卓球部OB/OG会(草門会)

2017年8月5日 井草体育館

当日は、OB/OGと現役の混成で4チームを作り、団体リーグ戦を行いました。朝10時から16時まで老いも若きも白球を無心に打ち合う1日でした。試合後は、上井草のアオヤギにてOB / OGの二次会(懇親会)を行いました。年に一度の卓球部の恒例イベントは今後も末長く続けていきたいと思っています。(21D 植木 謙)

## 井草会援助金制度のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けていますので、どうぞご利用ください。援助金は、30名以上の同期会、15名以上(65歳以上は10名以上)のOB・OG会やクラス会に対して給付されます。援助額は、千円/人ですが、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの申請とさせていただきます。ただし2年連続しての申請はご遠慮ください。

ハガキかFAX、または井草会ホームページの援助金事前申請用紙に会合名・目的・参加予定人数・開催予定日・幹事名(卒年・組)を明記し、必ず開催日の1週間前までに申請してください。

事前申請の受付終了後に、担当者よりその後の手続きの詳細をお知らせいたします。

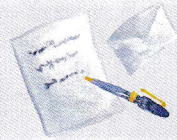
この制度は、会員の年会費によって賄われています。年会費の納入に、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

#### 【問い合わせ・申し込み先】

井草会同窓会委員会 〒177-0044 東京都練馬区上石神井2-2-43 都立井草高校内  
TEL/FAX 0120-066-193 (受付時間：平日9時～17時) メールアドレス igusa@igusakai.org



# 恩師からの便り



## 最後のG組

熊倉 正一 先生  
(平成17～21年 国語)



井草高校60期生の担任になったのは、俺が井草高校に赴任した年でした。60期生は15歳で、俺は55歳。俺には、孫のようにしか見えませんでした。7人の担任の中でも最高齢で、子供たちにとっても最高齢。担任仲間からは、長老、子供たちからは、熊じい（G組のじいと、爺のじい）と呼ばれました。1年から3年までG組の担任で、そのG組が、井草高校最後のG組になりました。学級減で、G組がなくなったからです。

60期生が1年生の時に、麻疹騒ぎが起きました。伝染性の病気なので、すぐにも休校にしたかったのですが、昔と違い、当時はすでに、学校は上意下達の組織になっていたので、教育委員会からの指示が出るまでは、身動きが取れませんでした。幸い、麻疹は感染が広がらずに収束していきました。

それから3年間、いろんなことがありましたが、語り始めると、きりがないので、1つだけ、話します。

井草高校の裏門に大木があって、秋になると、落ち葉で駐輪場全体が黄色くなります。用務主事の方が掃除をするのですが、掃くそばから葉が落ちるので、手が足りません。強制ではないけど、手伝う組が割り当てられます。担任は、子供たちに、落ち葉掃除に来てくれるよう、お願いをします。授業時間ぎりぎりに学校に飛び込んでくる子供たちが多いので、G組が当番に当たった時、俺と一緒に何人掃除をしに来てくれるのか、正直なところ、期待はしていませんでした。ところが、当日、何と、29人も来てくれました。中には、遅刻の達人までいました。胸が熱くなりました。クールに見えていた井草の子供たちが、天使に見えました。

去年、井草高校の同窓会で、G組の藤田基君が世話人になってくれて、同窓会に20人ほど、その後の学年同期会に40人ほど、子供たちを集めてくれました。彼の人望のなせるわざです。久しぶりに、沢山の孫たちに会えました。

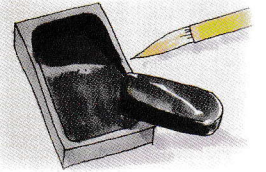
## 井草の思い出

鈴木 みち子 先生  
(昭和62～平成13年 社会)



定年退職で井草高校を辞めて、久しく年月を重ねました。井草の思い出で特に心に残るのは、書道部が東京都の代表として全国大会(全国高等学校総合文化祭)に出場したことです。当時、書道授業を担当した講師の吉岡先生に、書道部の実技指導もお願いしておりました。吉岡先生の指導は見事で、愛媛大会・北海道大会・奈良大会・鳥取大会・山形大会とほぼ毎年のように全国大会に出場しました。

愛媛大会は深刻な水不足の中で行われました。大会前から大幅な給水制限の様子が連日テレビや新聞で報道され、大会を実施できるのかと心配になりました。実際、宿泊先で入浴時間の制限などがありました。



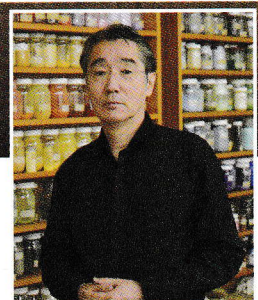
秋になると東京都予選に向けて猛練習し、出展作品を書きます。代表に選出されると、大会の交流会で書く作品の練習となり、部員は張り切っていました。大会では交流会と、出展作品の講評会に出席しなければなりません。その他の時間はブラスバンド部門出場校の行進を見たり、美術など他部門の会場に出かけたり、ちょっと寄り道して現地の名所旧跡を訪ねたりしました。楽しい思い出です。

井草を辞める前の三～四年は校務分掌が保健で、保健室に常駐しておりました。私は学校では白衣を着用しており、一・二年の生徒は保健関係の教員と思ったようです。新学期の四月、三学年の最初の日本史授業の時、ドアを開け教室に入ると生徒は「えー」と声をあげました。ある生徒には後で「先生にだまされていた」と言われました。このような些細なこともなつかしい井草の思い出です。

井草会報で同窓生が各分野で活躍し、在校生も頑張っているのを知るとうれしくなります。教員生活の最後を井草で過ごせたことを幸せに思い、同窓生に感謝しております。

# 描き続けた花月草星の世界

特別インタビュー 大回顧展を開く手塚雄二さん



23回(1971年卒)B組  
ご自宅のアトリエで

2019年3月から、日本画家・東京藝術大学教授の手塚雄二さんの大回顧展が行われます。50年にわたる画業の集大成として、代表作をすべて網羅、その独自の世界を存分に楽しませてくれるはず。明治神宮鎮座百年を記念して奉納する大作も出品され、大きな話題になりそうです。制作真っ最中の手塚さんをお訪ねし、お話をうかがいました。

## ■すべては井草の美術部から

— 絵を描き始めて50年とうかがいました。

そうなんです。実は絵を描くようになったのは、井草高校の美術部に入ってからなのです。当時、顧問をなさっていた青山兵吉先生に目をかけていただいたのが、私が絵描きになった最大のきっかけです。とにかく私が描くものはすべてほめてくださった。美術の評点は必ず「5」でした。

1960年代末は、井草でもバリケードストライキが起こるなど荒々しい時代でした。美術の授業をさぼったりした私に「5」をつけてくださった青山先生に、「なんで、不真面目なぼくに5をつけるんですか？」と食ってかかったこともあります。すると先生は、「お前はふだんいい絵を描いているからいいんだ」とおっしゃるんですよ。

まあ一種のえこひいきでしょうが、この一言はやっぱりうれしかった。2年生になって美術部の部長を務めていたこともあり、藝大へ行くことを心に決めました。今思うと天狗にもなっていたんでしょうね。「俺ぐらい絵のうまいやつは他にいない！」って。だから、藝大に入るのにまさか5年浪人するなんて思ってもいなかった(笑)。

## ■大回顧展と内陣屏風のこと

— 来春の展覧会についてお聞かせください。

「手塚雄二——花月草星展2019」は、4回目の回顧展です。代表作をすべて網羅、約100点を展示します。日本橋高島屋のグランドオープンのこけら落としでもあり、1,300㎡の会場を生かした、迫力ある展示が期待できます。日本橋の後、大阪・京都・横浜・福井へ巡回します。

— 最大の話作、明治神宮内陣屏風についてうかがいます。

2016年春にお話を頂戴しました。回顧展に向けて厳しいスケジュールでしたが、お受けしました。100年前に大家・下村観山先生が奉納した屏風絵に代えて私の絵を奉納するという名誉ある、しかも重責を伴うお仕事です。来年7月の奉納ですから、回顧展でだけご覧いただけます。

## ■日と月と明治神宮の森

— 主題や絵の構成要素などについて、ご紹介ください。

メインテーマは、「日」と「月」です。「日」は明治天皇、「月」は昭憲皇太后を表しています。右側から左側へ向けて、春夏秋冬の四季を神宮の森にちなんで、木の葉の変化で描きました。桜から新緑へ秋の紅葉から雪へ、虫や雀を遊ばせて光る風が吹き渡るイメージです。「日月四季花鳥図」と名づけました。ちなみに「葉っぱ」は「言の葉」つまり言葉であり、言葉を交わし合う人々でもあります。夢中で描いているうちに、従来の作品とは違う新しいものが生まれたという実感があります。

— 最後に、多くの作品の中で、手塚さんが最も気に入っている作品を3つ挙げてください。

うーん、難しいなあ。というのは好きな絵がたくさんあるからです。でもあえて3つ挙げるとすれば、「海霧」(2003年)、「麗糸」(1999年)、「こもれびの坂」(1996年)でしょうか。いずれも、来春の展覧会には出品します。ぜひ、ご覧になってください。

— 本日はありがとうございました。

(2018年5月8日、上野桜木のご自宅で)



こもれびの坂



麗糸

## 「手塚雄二 花月草星展2019」 会期・会場

2019年3月20日(水)～4月1日(月)

日本橋高島屋 8階ホール

4月10日(水)～4月22日(月) 大阪高島屋

5月8日(水)～5月20日(月) 京都高島屋

5月22日(水)～6月3日(月) 横浜高島屋

9月6日(金)～10月6日(日) 福井県立美術館

★東京藝術大学大学美術館で退官記念展開催

2019年10月13日(日)～10月26日(土)

\*日本橋高島屋の会期は確定。退官記念展を含め、他の会場の会期は予定です。

# OB/OG インタビュー

## アラスカの大自然に生きる

眼前にそびえるデナリ山（旧名称：マッキンリー／植村直己さんが眠る）。氷河からの水にうるおう湿原がクランベリーで真っ赤に染まる夏から秋、グリーズリーがそれを頬張る。ヘラジカ、オオカミ、白頭ワシ…野生動物たちがあたりまえのように生活する。9月には満天の星空にオーロラが踊る。そこはアラスカ。アンカレッジから車で3時間、デナリ国立公園に隣接する州立公園の大自然の中で、茅野さんは生きている。



茅野 徹さん 24回（S47年卒）H組

**略歴** 北海道大学水産学部化学科（1977年）卒。第一次オイルショックの余波で就職難。先輩を頼り南太平洋のフィジーへ！以後20年、専門知識を活用して東南アジア、オセアニア、北南米で水産／鉱物資源関連の仕事に従事する。その後、米国にて起業し、汚染土壌および汚染地下水の浄化技術関連コンサルタントとして活動している。

### ■現在の地に落ち着くことになった動機と経緯は？

五十歳を迎える頃湧いてきた、「残りの人生、大自然の中で生きたい！」という思いが動機です。その思いにピッタリの大自然に、デナリを臨むこの地で出逢えたのです。

2005年、先住民が所有していた5万坪（東京ドーム3.5個分）の広大な土地の売却情報を得、四季を通して現地を視察し「ここだ！」という確信を持ち、直接交渉の末に入手することができたのは2006年のこと。そこで、「自然エネルギーを利用した、環境と健康に優しい生活の実践と体験」、「自然を核とした生涯教育」、「地球環境に関する研究機関の拠点提供」を理念としたDCNC（Denali Chino Nature Center）という夢のプロジェクトを実現すべく、カリフォルニアから移り住みました。

当初はトレーラーハウスからの生活。森を開き、林道を作る。資材をアンカレッジから運び、風力や太陽光発電の利用。氷河の水を生活水に変える水供給システムの構築。デナリを臨む露天風呂などのおもしろいアイディアも盛り込み、周囲の協力も得つつ自力で創り上げていき、思い描いたセンターが形になったのは、4年後の2010年の5月でした。



### ■具体的にどんな活動をしていますか？

**生涯教育**：日本の大学を通して学生や社会人を受け入れ、夏期短期留学やインターシップの拠点として、自然生活実践の場を提供しています。遊歩道、キャンプ場の整備、キャビン（簡易寝所）、野外トイレなどの建設、メンテナンス等を行います。日本山岳会などに働きかけ、大学等のOBを受け入れてトレッキング等の拠点として利用してもらっています。日本および世界各国のボーイスカウトに呼びかけ、自然体験を通しての共同作業、異文化体験などを核としたコミュニケーションプログラムを展開し始めています。

**自然エネルギー**：アラスカ大学、日本の大学、諸研究機関、地方自治体、企業体と共に小規模で低価格な自然エネルギー活用の試験、研究に取り組んでいます。

**北大アンバサダー**：北海道大学から委嘱を受け、アラスカ大学短期留学等の受け入れ窓口になり、大学の国際化や北大アラスカ北米事務所設立に貢献しています。

**民 宿**：一般の方々も、DCNCをB&B（朝食付き民宿）として利用できます。この大自然に接し感動してほしいです。

### ■今後の展望は？

地球温暖化対策や北極域研究の拠点を提供できればという思いで、文部科学省や国立大学との接触を始めています。多くの研究者が集まり、分野横断的に研究を行う基地ができれば素晴らしいでしょう。



### ■どのような高校生でしたか？ 思い出は？

運動が大好きで、バスケットや陸上等のクラブ活動に明け暮れていました。からまつ山荘でのスキー教室に参加したことは忘れられない思い出の一つです。

### ■現役の井草生、後輩へのメッセージをお願いします。

何事にも興味を持ち自ら行動すること！そこに、感動が生まれます。無感動な人生には味がない。机上の仕事だけでなく現場にも目を向け、そこに人生のエネルギーを費やしてください。異文化に飛び込み、体験を生かして人類、社会、平和に貢献してください。

世界に羽ばたけ！井草高校生徒諸君！

<http://alaskachino.com/>





# キャンパスニュース

## 新任校長のご挨拶

都立井草高等学校校長  
内田 圭一



平成30年4月1日に校長として着任いたしました内田圭一と申します。前任校は府中高校です。副校長時代、管理職として培ったノウハウを活かして府中高校の進学実績向上と名門復活を旗印に4年間校長として勤めさせていただきました。おかげさまで、着任時に比較して約2倍強まで進学実績を向上させ、それに伴い低迷していた応募倍率も復活させることができました。そのことは地域からの信頼回復の現れでもあり、府中高校では、実績を少しでも残せたのではないかと自負しております。

さて、このたび都立井草高校に転任が決まった時、自分にいったい何ができるのか、自問いたしました。確固たる地位をすでに築いている井草高校で自分ができること。

今、世の中はグローバル化、少子高齢化、それに伴う働き方改革も含め非常に先の読めない時代となって来ています。努力して頑張ればある程度報われた私たち昭和の時代とは明らかに違ってきています。小学生のなりたい職業1位がユーチューバーだと10年前に誰に想像できたでしょうか。20年後には今ある職業の少ない数の職種が消えていると言われていています。しかし、それに伴い私たちの想像のつかない職業がこの世に誕生しているかもしれません。先の読めない将来は不安でもありますが、それ以上に新たな可能性に満ち溢れていると思います。

しかし、どのような時代であろうと生徒を育て自己実現を図っていくということは教育に携わる者にとっては自明の理であり、そしてそれはどの学校でも同じはずです。

私なりにこれからの井草高校の生徒に求めるものを考えました。

一人一人の生徒が、知性と感性を磨き、心身の健康を培いながら、向上進取の精神をもって、常に高みを目指し、自ら先へ先へと進んで、進歩していく。

これが本校と、本校の生徒の姿であると考えます。

同窓会の皆さまにはどうか私の教育理念にご理解をいただき、今後とも都立井草高校をさらに発展させていくために、ご支援とご協力をよろしくお願ひしたいと存じます。

## 自主・自由・自律「IGUSA夢PROJECT」

井草高校 進路指導部 武藤 亮

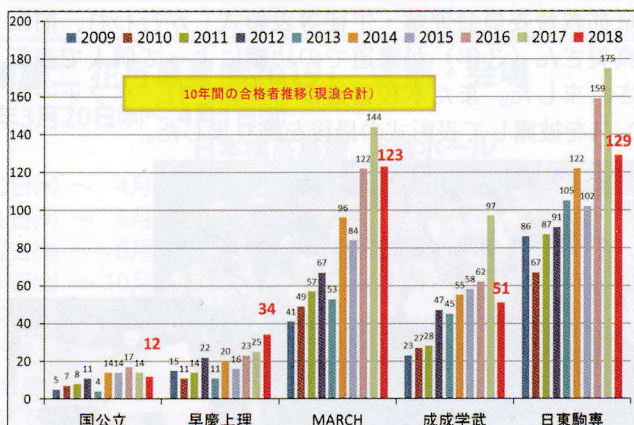
高校の先の、さらにその先を見据えた井草高校の進路指導、「igusa 夢 project」も12年目を迎えました。国公立や難関私大にチャレンジする生徒も増え、年々進学実績が向上しています。文科省による、MARCHなど大規模大学の定員管理厳格化の影響もあり、のべ合格者数は昨年を下回りましたが、私立最難関である早慶上理（早稲田、慶應、上智、東京理科）合格者は、少なくともここ15年間で最高の結果となりました。

自主・自由・自律を旗印に、「igusa 夢 project」はさらに進化して行きます。卒業して10年、28歳の自分をイメージできる進路指導、これからも井草高校の進路指導に期待してください。

## 2018年進路状況・合格状況

(既卒者、推薦入学を含む合格者数)

国公立大学	お茶の水女子	1	順天堂	1	東京工芸	5	
	千葉	1	城西	4	東京女子	7	
	電気通信	2	城西国際	1	東京造形	2	
	東京外語	1	上智	9	東京電気	11	
	東京海洋	1	昭和音楽	1	東京都市	3	
	防衛大学校	1	昭和女子	9	東京農業	20	
	金沢	1	昭和薬科	1	東京薬科	1	
	埼玉	2	女子栄養	3	東京理科	9	
	首都大学東京	1	白梅学園	4	東洋	45	
	信州	1	白百合女子	3	東洋英和女学院	1	
	鳥取環境大	1	成蹊	12	獨協	7	
	私立大学	青山学院	11	成城	4	二松学舎	1
		亜細亜	5	聖心女子	1	日本	68
跡見学園女子		4	清泉女子	3	日本社会事業	1	
桜美林		1	洗足学園	1	日本女子	3	
大妻女子		5	専修	9	日本女子体育	1	
学習院		13	創価	1	フェリス女子	1	
学習院女子		1	大正	4	文教	1	
北里		1	大東文化	2	法政	36	
共立女子		1	拓殖	5	星薬科	1	
杏林		5	玉川	4	武蔵	19	
近畿		1	多摩美術	6	武蔵野	8	
慶應義塾		4	中央	25	武蔵野音楽	5	
工学院		6	津田塾	2	明治	26	
國學院		7	帝京	12	明治学院	7	
国際医療福祉		1	帝京科学	1	明治薬科	1	
国際基督教		1	帝京平成	3	明星	2	
国士館		2	デジタルハリウッド	1	目白	1	
国立音楽		1	東海	5	立教	22	
駒沢		20	東京医療保険	4	立正	2	
埼玉医科	1	東京家政	7	立命館	1		
実践女子	7	東京経済	2	早稲田	14		
芝浦工業	16	東京工科	5				



# 井草高校 NOW

現役の井草生の学校生活の様子をお知らせするため、井草高校ツイッター (@tigusahs) から注目のツイートをセレクトしました！(原文のまま掲載)

## 弓道部

2018年4月15日

弓道部です！本日行われた関東大会東京都予選で、191チーム中、男子団体が3位に入賞しました！6月に行われる関東大会に東京都代表として出場します。たくさんのご声援ありがとうございました！



## ダンス部

2018年3月26日

本日、USA Nationals 2018 の全国選手権大会でした！皆さまからの応援で見事、ダンス部門のグランプリを獲得しました！

沢山の応援、本当にありがとうございました。



## 書道部

2018年2月14日

平成30年2月10日(土)に都庁にて「平成29年度東京都教育委員会児童・生徒等表彰式」が行われ、前田真美さん(3年)が書道での功績によって個人で表彰されました。また本校書道部も表彰され、パフォーマンスを披露して表彰式の最後を飾りました。



## 国際交流

2017年12月19日

井草生として一緒に過ごした6名の留学生が本日井草高校を後にしました。共に過ごした時間は、とても大切な宝物になりました。次に会える日を楽しみにしています。



## 修学旅行

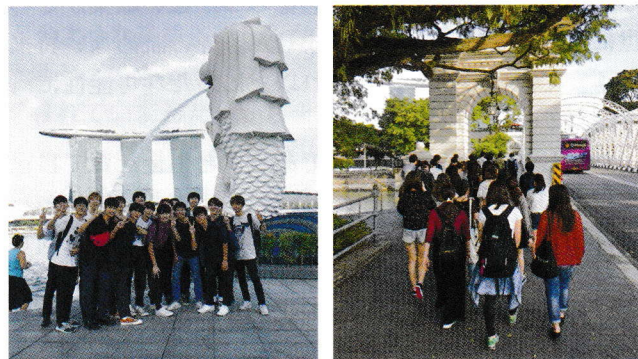
2017年12月4日

いよいよ修学旅行第1団が出発します！無事に出国審査を通過して、いま搭乗しています。シンガポール、行ってきまーす♪



2017年12月5日

やっぱりシンガポールと言えばマーライオン！！時差は1時間なので、「じゃらんじゃらん」(マレー語で散歩の意味)してもまだ明るい！



## 文化部合同合宿

2017年7月24日

文化部合同合宿最終日。生物部は4日間、尾瀬の豊かな生物を昼に夜に夢中で観察しました。たくさんの記録をお土産に帰ります。9人とも元気です！



# クラブ活動めぐり

今回紹介するクラブ活動は、伝統ある吹奏楽部と都立高校で8校しかない比較的新しいフットサル部です。吹奏楽部は、隔年で開催している記念同窓会で校歌の演奏を披露してもらうなど、井草会とのつながりがあるクラブです。一方のフットサル部は練習環境も厳しい中、これらに向けて頑張っているようです。自主・自立、協同の精神は、新旧のクラブで息づいています。今回は各クラブの部長に活動報告をお願いしました。

## 吹奏楽部

私たち吹奏楽部は新2年生と3年生14名で、昨年1年間頑張っ活動してきました。今年度は新入生がたくさん入部することを願っているところです。

顧問の佐藤勉先生は部活を第一に考えてくれます。

普段は基礎練習から始まり、パート練習、合奏という流れで週4回活動しています。部員が少ないなかで吹奏楽をやることはとても大変で、どの曲を演奏するにしてもパートが足りなく、楽譜を書き換えることが多々あります。しかし、部員が



少ないからこそ全員が仲良くできたり、一人一人が上達したりとメリットもたくさんあります。夏休みには

東京都吹奏楽コンクールに出場しており、昨年は10数年ぶりとなる銀賞を獲得できました。コンクールに向けては、長時間の練習が必須であったために、肉体的にも精神的にも辛かったのですが、結果を出すことができてよかったです。

3月末に行われた第34回定期演奏会では、卒業した先輩方、賛助出演の方たちと一緒に大人数で演奏しました。この演奏会は、普段、私たちだけではできない大曲やポップスなどを1年間の集大成として発表する有意義な機会となりました。

最後になりますが、これからも精進していく私たち吹奏楽部を温かく見守っていただけたら幸いです。

部長 佐久間 夏希



井草高校定期演奏会 於：ルネ小平

## フットサル部

例年大所帯のフットサル部ですが、今年度は1年生11名の新入部員を迎えて、総勢30名の部活動となりました。女子6名は3年生のみで、女子部員の入部が望まれるところです。部員同士は仲も良く、入部間もない1年生も部活動になじんできて、楽しく、かつ真剣に練習に取り組んでいます。

活動日は月・水・木曜日の週3日で、テニスコートとサブグラウンドをお借りして活動しています。普段の練習は、体力補強やパス練習・シュート練習と模擬試合を中心としています。

対外活動としては、6月に「フットサルフェスタ(旧ホンダカップフットサルフェスタ)2018関東予選」、8月には「夏の高校生フットサル大会

2018」への出場を予定しています。大会までの期間をこれまで以上にしっかりと過ごして、良い結果が残せるように全力を尽くします。

これからも、フットサル部の応援をよろしくお願いいたします。

部長 2年F組 佐藤 真二



# フレッシュ卒業生に聞きました!★



**関根 理香子 さん**

(平成30年卒70回A組)  
昭和女子大学  
人間社会学部 現代教養学科

## Q1 現在の学生生活の様子は？

高校までとは異なり、大学では必修科目の他に、自分の学びたい科目を選択して学ぶことができます。専門分野である社会学の他にも、運動好きな私は体育の授業を取って体を動かしたり、字がきれいに書けるようにと硬筆の授業も選択しています。ほかにも、管弦楽団やバレエやミュージカルなどの文化講座も自由に取れるので楽しく、とてもやりがいを感じています。

## Q2 進路選択の動機や決め手は？

就職に強いとされている大学で、自分の学びたいことがある学校にしたいと思い、女子大をいくつか見て、オープンキャンパスや資料請求をして、この大学にしようと思決めました。他にもやりたいことに対するバックアップの強い学校という所に重点を置き、学校や塾の先生、親と相談して決めました。

## Q3 受験勉強は大変でしたか？

私は夏休みからAO入試の対策をしていたので一般受験のための勉強と両立させなければならぬ夏休みは本当に大変でした。特に、暗記ものが苦手なサボっていたところを一気にやらなければならないのは自業自得ではありますが、大変だった記憶があります。習ったことは早いうちから暗記してしまうことをお勧めします。

## Q4 将来の夢や希望を聞かせて下さい。

まだどんな人、と特定していうことはできませんが、英語が話せる人になって、将来に役立てたいと考えています。

## Q5 高校生活の思い出。印象に残っていることなどを。

井草高校のイベントは本当に全て最高に楽しかったです。体育祭や文化祭は本当にどのクラスも活気があってイベントがあるたびにクラスの仲が深まっていくのを感じると本当にグッときます。イベントだけでなく、毎日一緒にお弁当を食べたり、遊びに行ったり、部活をしたり、帰ったり、そんな時間でさえもとてもかけがえのない思い出です。

## Q6 後輩へのアドバイスやエールを！

井草高校の生活の一日一日を大事にして思いっきり楽しんで下さい。そして部活や勉強もやらなければならないことはしっかりやり通して、高校生活を充実させてほしいと思います！たくさんの仲間とたくさんの思い出を大事にしていて下さい！悔いのないように！



**片桐 尚哉 さん**

(平成30年卒70回A組)  
慶応大学  
法学部 政治学科

## Q1 現在の学生生活の様子は？

大学は天国です。学習面では、自分のとりたい科目をとり、学びたいことが学べるのでより能動的に授業に参加しています。生活面では、野球やテニスなどのサークルに入り様々な出会いがあるなか、共に刺激しあえる仲間が増えました。本当に毎日が充実していてリア充です。

## Q2 進路選択の動機や決め手は？

将来の夢は不透明だったのですが、とにかく高いところを目指そうと私立の偏差値表の一番上にあつた慶應の法学部を志望しました。高い目標を現実にする事で達成感を得、そこからまた何かに向けて頑張る力になると思ったのも理由の一つでした。

## Q3 受験勉強は大変でしたか？

ただ努力するだけではいけないと気づくまでは大変でした。やみくもにただ量だけやって満足し、結果が付いてこない時期もありました。そういう時期は本当に辛かったです。なにを勉強すべきか、どう対策すればいいのかということをしっかり論理的に捉えることで成績も伸び、その時期からは受験勉強に楽しさをおぼえるようになりました。

## Q4 将来の夢や希望を聞かせてください。

まだ全く決まっていないのですが、一応候補としては国連事務総長、YouTuberもしくはケーキ屋さんになりたいです。

## Q5 高校生活の思い出。印象に残っていることなどを。

井草祭のファッションショーが1番思い出に残っています。1～3年生全て出演していて毎年違うテイストのものができるのでその都度なにを着るのか、音楽はどうするのかなどを考えました。みんなで作り上げることは達成感と充実感があり本当に楽しかったです。

## Q6 後輩へのアドバイスやエールを！

行事も勉強もできる最強の高校生になってください。受験はやるか、やらないかです。諦める理由を探す前にやるべきことをやってください。僕も高2の時の成績は下から数える方が早かったのですが、受験期を迎えてからは、根気強くしっかりと考えて勉強して圧倒的実力を蓄えて合格できました。本当に自分次第です。感情に惑わされるのではなく、しっかりと考えて、冷静に、かつ熱意を持って頑張ってください。

# 会員からの便り

前号「井草会報2017」で募集した…会員からの便り…へ寄せていただいた同窓生の方々の井草時代の思い出や近況をご紹介します。

## <昭和20年卒 高女1回生1組 川崎 幸>

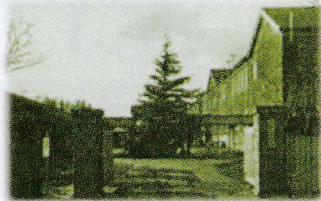
井草高女を卒業後、千代田女専に入学。その後、文化服装学院で1年間洋裁の勉強をし、洋裁の仕事をするつもりでしたが、20歳よりモダンダンスを7年習い、その後クラシックバレエを29歳から習い始めてバレエが仕事になりました。自宅の庭にレッスン場を父の設計で建て、その前から空き部屋で指導をしており、本年で64年になります。現在は、育てました助教師3人と杉並・三鷹・練馬でクラシックバレエの仕事が続行中です。

## <昭和29年卒 6回生B組 米田(渡辺)洋子>

高校卒は遠い昔のことですが、畠道を学校へ通ったことや、富士山をはるかに見て運動場を走りまわったことなどをなつかしく思い出します。東京から遠く離れて関西に居りますが、我々の学年は健闘していると思います。現在天国へのパスポートを得て、どんな方々と出逢えるかを思うと、楽しみでなりません。終り良ければ全て良しです。安心のあるホームで、出来ることをして感謝して過ごして居ります。皆様も最善の道を選ばれることを願いつつ。

## <昭和30年卒 7回生B組 田嶋 清二>

私が入学した昭和27年当時の井草高校は木造校舎で、夜間部用なのか中庭に照明設備があったのを覚えています。当時の生徒の男女比は1対2で、約15人対30人でした。入学した年は隔週土曜日が休校でしたが、翌年には廃止されました。近隣は殆ど畑で人家は少なく、教室からは2両編成で走る西武線が見えるなど、今では想像できない環境でした。正門を前にしてそびえ立つヒマラヤ杉、木造校舎の風景は鮮明に覚えています。



## <昭和31年卒 8回生B組 小唄(吉塚)栄子>

卒業50年を機に毎年七夕クラス会をしています。今年2017年は80歳、傘寿を祝い20名が集まりました。仕事、ボランティア、趣味にと活躍している方、身体の不調を訴える方とさまざまです。部活に明け暮れた日々、もっと勉強すればよかったと遅すぎる反省、心は62年前に戻って会話が弾みました。優しかった小沢芳子先生、鬼籍に入った同級生にも七夕クラス会の報告を届けたいと思います。

本年4月の正門付近



## <昭和38年卒 15回生B組 泉(本橋)京子>

1年生の井草祭で、音楽劇「真間の手古奈」の手古奈役を先生と音楽部部长より推薦いただき、ひと夏、先輩の並々な御指導によりつとめた事がなつかしく思い出されます。卒業後も音楽の道に進み、現在に至っております。73才という歳と向き合い、人生も一時の夢の如く、あっという間に歳を取ってしまい、鏡の中の自分に不思議な思いでいっぱいです。皆様も、悔いのない人生、一日一日を大切に、またお目にかかれるように！

## <昭和41年卒 18回生J組 吉村 孝>

在学していた頃は、学校周辺にも武蔵野の雑木林や農家の佇まいが見られました。新青梅街道がまだ車が通らない水道道路と呼ばれており、その道で写生をしたり、冬には校庭のイチョウから落ちた銀杏をダルマストーブで煎って食べたり、また休み時間には屋上から富士山を眺めたりしたことを思い出します。そして、今でも富士山の姿が見られる武蔵野の風景に淡い想いを抱いています。

## <昭和55年卒 32回生F組 庄司 亨>

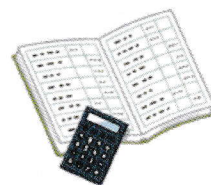
卒業後37年も経っているとは、時の経つのは早いものです。大学院卒業後に渡米、アメリカ滞在も27年目を迎え、自分の半生を米国で過ごしている計算になります。日本には28年間しか住んでいなかったものの若い頃のことは昨日のように思い出し、高校3年の授業の様子を写真のように思い出すことが出来、懐かしく思えるのは私の宝ですね。近況といっても、毎日職場と家を車で往復し、夜と週末は息子のアイスホッケーの練習や試合の送り迎えです。アメリカ生活は、日本のそれに比べるとかなり単純なものです。井草の緩い校則とアットホームな雰囲気は、学生時代の忘れがたい思い出です。





## 井草会にもっと若い世代から携わってほしい

井草会 会計 村上 俊雄さん (25E)  
監事 久米 浩一さん (26D)



会計の村上さんと監事の久米さんは井草高校を卒業してからすぐに井草会の活動にかかわり、今は会計と監事という役割で同窓会をずっと支えてくれています。ちょうど会計監査が行われた日に、お二人に井草高校の時の思い出や同窓会でのお仕事や思いをお聞きしました。

### ー井草時代は一番の思い出はなんですか。

(村上) 一つは修学旅行かな。当時は学年で皆の意向をふまえて行先を決める形で、東北に行きました。11月でしたが、雪が舞っていたことを覚えています。初めて寝台列車に乗ったのもこの修学旅行でした。また、思い出すのは、体育の授業時間が雨天になって、通常は男女別々だったのが、先生の企画で急遽、一緒に「フォークダンス」の授業になったのが忘れられません。

(久米) 高3の時、井草祭のためにクラスで作った8mm映画ですね。タイトルは「必殺仕置人」。観客に大うけだったですね。最近、クラスの一人がその映画をDVDにしてくれて、クラス会でも上映して盛りあがっています。あと、クラス対抗の球技大会の罰ゲームが、修学旅行の余興としての「ラインダンス」だったのを思い出しますね。



### ー高校卒業後はどんな道に進まれたのですか。

(村上) 大学は文学部で西洋史を専攻しましたが、就職はオイルショック後でとても苦労しました。結局、コンピューターの仕事につきました。その後、36歳で大阪の会社の東京支社の総務に転職。会社に若人がどんどん増えていった時代に総務をやったので、事務所の拡大など不動産屋みたいな仕事もしました。

(久米) 私は大学の法学部を卒業し、会計検査院に勤めました。仕事ではいろいろな現場に行きましたね。今は村上さんもそうですが、週4日、働いています。その合間を縫って、同窓会の仕事をしています。

### ー会計の仕事について教えてください。

(村上) 他の学校の同窓会は一般財団法人にしているところもあるようですが、井草会は任意団体なので、銀行で口座等を設定するのは結構面倒です。もちろん法人にすることも考えられますが、会計監査などのコストを考えるとあまり現実的ではありませんね。また、都度、経費が発生しますので、同窓会の会合

には頻りに顔を出し、なるべく早く処理することを心掛けています。気がかりは年金の受給年齢が上がったりしたことも影響しているのか、このところ会費収入が減少傾向にあることです。

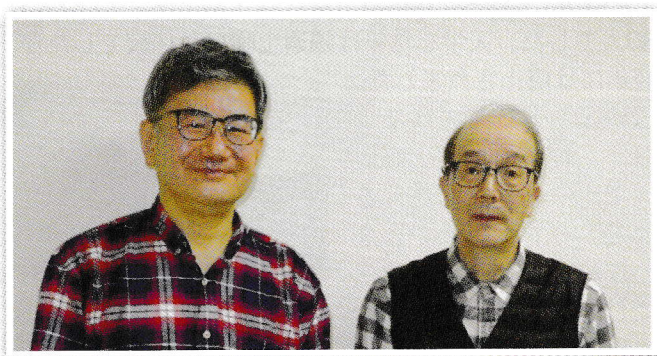
### ー細かい経費もあり、会計監査は大変ですね。

(久米) 以前は会計監査に朝10時から夜の7時と長時間かかっていました。今は会計の方で、監査がしやすいようにしてくれていますので、2時間ほどで終わることができるようになりました。

### ー井草会へのかかわりはいつくらいからですか。

(久米) 私と村上さんは井草高校を卒業した直後から、井草会の仕事をしていました。同窓会会館が当時はあり、そこでいろいろな作業をしていましたね。20代から30歳くらいの若い井草会のメンバーで当時あった「からまつ山荘」に一緒に行ったこともありました。

(村上) 井草の先輩に大学での単位をどうすれば取りやすいか、就職はこうの方がいいよなど、いろいろアドバイスを先輩方からもらったりしました。



長いお付き合いのお二人。久米さん(左)、村上さん(右)

### ー井草会に期待していることは。

(久米) 井草会にもっと若い時期から携わってもらえればよいなと思っています。

(村上) 大学の学部などが同じだと仕事や思考がある程度の「幅」になりがちですが、井草高校の同窓会は世代も違うし、経験も違う人たちが幅広く集まっているので面白いですね。人生の先輩の話が聞けますよ。

## 幹事総会報告

6月2日(土)、平成30年度定時幹事総会が母校視聴覚室で開催されました。当日は37名の出席(委任状334名)により必要定足数50名を満たし、総会が成立しました。

来賓には、名誉会長の内田圭一校長の代理として澤崎陽彦副校長、および加藤正治PTA会長にご出席いただきました。お二人より同窓会からの学校支援に対する感謝の言葉が寄せられ、「今後とも生徒たちのために力強い協力と支援をお願いしたい」とのご挨拶がありました。

続いて、平成29年度の事業報告・決算報告があり、平成30年度の事業計画案・予算案・役員および理事改選案が審議されました。予算案の中で、これまでPTAが管理していたからまつ山荘の閉荘に伴い、その運営資金を同窓会会計に組み込み、学校記念事業費等に利用して欲しいというPTAからの要望を受け入れ、今年度は予備費に組み込んだ旨の報告がありました。議事はいずれも全会一致で承認され、最後に、改選で承認され二期目となる植木謙会長より、「今後とも井草会の活動に理解と協力を願いたい」との挨拶があり、無事閉会しました。

## 平成30・31年度 役員・理事名簿

○印は常任理事会メンバー

会長	植木 謙	21D	○	広報	磯邊 文雄	18B
副会長	樗木 莊太	29I	○		沖野 一則	28F
	田村 光孝	31E	○	同窓会	宇都木 夏也	37C
会計	村上 俊雄	25E	○		林 有紀子	37B
	藤尾 智子	25I	○		難波 俊樹	37G
監事	遠矢 良隆	6A	○		鎌形 香代子	27F
	久米 浩一	26D	○	会報	植木 謙	21D
事務局	中村 啓子	18E	○		中井 淑子	7C
	鎌形 香代子	27F	○		遠矢 良隆	6A
	佐藤 治子	女1			西田 實	17B
	渡辺 旭	2B			中村 啓子	18E
	金澤 美保子	3B			日野 純子	24H
	中井 淑子	7C			小野 新祐	24H
	新井 雅晴	13D			塚本 忠保	24H
	本田 英俊	16B			新妻 成一	35F
	祝 裕太郎	16G		同窓会	田村 光孝	31E
	磯邊 文雄	18B	○		採田 邦子	29F
	安田 忠	21G			中村 啓子	18E
	日野 純子	24H			安田 忠	21G
	町田 秀彦	27F	○		田中 信雄	29B
	採田 邦子	29F			五十嵐 恵理	31B
	伊集院 直子	30B			加藤 康正	33C
広報	八巻 孝夫	18A	○		幡野 佐	34I
	原 京	14G	○		久保田 幸子	37A
	遠矢 良隆	6A			日下 智博	37D
	瀬尾 行弘	8B			難波 俊樹	37G
	中村 福代	14G			西野 幸一	38B
	瀬戸山 邦二郎	15F			茂木 祥子	38E

## 平成29年度決算・30年度予算

収 入 (単位:円)

項 目	H29年度予算	H29年度決算	H30年度予算
繰 越 金	2,308,093	2,308,093	1,093,195
入 会 金	1,004,000	1,004,000	972,000
会 費 収 入	3,000,000	2,896,000	3,000,000
寄 付 収 入	500,000	574,000	500,000
同 窓 会 参 加 費	3,000,000	2,592,000	0
名簿積立金取り崩し		0	700,000
雑 収 入	10,000	36,599	918,670
計	9,822,093	9,410,692	7,183,865

支 出

項 目	H29年度予算	H29年度決算	H30年度予算
会 報 委 員 会 費	3,150,000	2,821,460	3,000,000
会 報 通 信 費	1,150,000	1,150,697	1,200,000
会 報 発 送 代 行 費	750,000	702,643	750,000
会 報 等 印 刷 費	1,150,000	918,347	950,000
委 員 会 活 動 費	100,000	49,773	100,000
同 窓 会 委 員 会 費	4,450,000	4,087,842	800,000
ク ラ ス 会 等 援 助 金	700,000	696,000	700,000
委 員 会 活 動 費	200,000	137,338	100,000
同 窓 会 開 催 費 用	3,500,000	3,218,827	0
同 窓 会 費 振 込 手 数 料	50,000	35,677	0
広 報 委 員 会 費	400,000	257,124	400,000
イ ン タ ー ネット 委 員 会 費	100,000	95,587	600,000
事 務 担 当 費	1,200,864	1,051,599	1,150,864
活 動 費	700,000	579,693	650,000
井 草 高 校 助 成 金	300,000	279,100	300,000
年 会 費 振 込 手 数 料	200,000	191,942	200,000
入 会 金 振 込 手 数 料	864	864	864
会 計 担 当	20,000	3,885	20,000
事 務 所 開 設 準 備 金	0	0	0
予 備 費	501,229	0	1,213,001
次 年 度 繰 越		1,093,195	
計	9,822,093	8,317,497	7,183,865

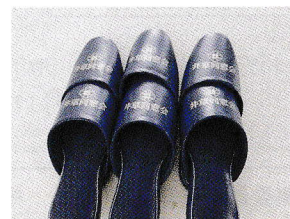
## 財産目録

(平成30年3月31日現在) 単位:円

名簿積立金	700,000
井草会事務所開設準備金	15,500,000

## 井草高校助成金

井草会では、母校の発展を支援するために、井草高校助成金を予算化しています。これまでもテントの寄贈などを行ってきましたが、平成29年度助成金より、井草同窓会ネーム入りスリッパ300足の寄贈と、書道部全国大会表彰式へ参加する交通費を援助しました。



# 井草会 掲示板

## 1. 井草祭へのお誘い

開催日時 9月8日(土)・9日(日) 10時～15時

井草会は今年も井草祭へ参加し、歓談の場を用意して同窓生の皆様のお越しをお待ちしております。この機会に、なつかしいキャンパスへ足を運んでいただき、高校時代の思い出に浸るとともに、井草の校風を脈々と引き継いでいる現役生たちの作品や発表の数々をお楽しみください！



2017井草祭の正門前風景

## 2. 29年度一般寄付金寄付者名簿

平成30年3月31日現在

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

(敬称略、単位：千円)

高女1	末永 京子	10	高校12	尾崎 政雄	3	小野 節子	3	田中 隆枝	3	藤吉 和彦	2			
高校1	隆野 豊子	8		細野 恭代	3	高校16	滝田 昇	100	山下 昭夫	1	阿部 恵	2		
高校4	河上喜美江	3		軽部 行秀	3	高校18	郡司 明郎	8	高校25	小山 伸也	8	高校32	藤川 由美	1
	間藤 道子	3		神保 捷介	3		千葉 優子	3	高校26	牧山 好子	8	高校33	中村 一郎	8
	二木 培江	3		関 基治	3	高校19	高橋 勉	3		杉野 俊哉	1		長尾 一明	3
高校5	大西 久江	6		内藤千与孝	3		川勝 文雄	1		岩倉 昭博	1	高校34	島田 隆司	3
高校6	浜田 孝夫	1		中林 保彦	3		篠塚 明	10	高校27	小林 明子	3		高野 郁人	1
高校7	重廣 大樹	3	高校13	清水 健司	1		菅井 俊夫	8		町田 秀彦	20	高校35	福沢 光一	3
	三橋 一隆	8		富岡 和子	8		村田 勉	3		山口千鶴子	3		中村 維男	8
	大村 洋子	5	高校14	木村 利行	8	高校20	野崎 暁	3		神代 洋男	3		樋口 貴紀	3
	浜田 明美	8		松本 洋子	3		本山 和夫	18		伊藤 立実	30	高校37	宇津木夏也	2
	庄司志づ江	10		鴨居 静秀	5		大山 吉久	3	高校28	小原 久	30	高校40	満川 元貞	1
	榎本 昌子	3		林 健一	8		田中 英明	3	高校30	伊集院直子	1	高校41	匿 名	8
	宮寺 綾子	3		原 京	5	高校21	遊佐 暁彦	3		畑田 明子	1		吉浦 和孝	3
高校8	瀬尾 行弘	18	高校15	今井千恵子	3		植木 謙	15		神田 芳弘	3	高校49	米川 輝	2
高校9	渡辺 正義	8		堺 公子	3		原田 陽介	8		山崎 信彦	1			
	木村 忠正	8		川添 洋子	3		宮本 静代	10		青木 章	1		寄付者数91名	
高校10	関口 素子	1		三井 康子	3	高校22	戸倉 賢二	3		大場 肇	3		576,000円	
高校11	木下 亮一	2		作田 豊彦	3	高校23	桑名 祐子	5	高校31	滝川 直	10			

## 「同窓会会員からの便り」を募集します！

高校時代にどんな思い出がありますか。いま、井草会(同窓会)へ伝えたいメッセージはありませんか。あなたの声を届ける用紙を会報に同封いたしましたので、ぜひ紙面作りにご協力ください！  
また、OB/OGインタビューに掲載してほしい方の紹介や情報提供もしていただけると幸いです。

宛先：FAX、メールまたは郵便で井草会事務局（下記）へ

締切：平成30年12月31日（来年の会報に掲載予定）

### 恩師の訃報

杉野 隆 先生 (S40～59年 英語)  
平成29年6月11日逝去

井草会事務局：177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内  
TEL&FAX 0120-066-193 (受付時間 平日9時～17時)  
メール：jimu@igusakai.org 郵便為替：00120-4-84359  
ホームページ：http://www.igusakai.org

編集委員：遠矢良隆(6A) 中井淑子(7C) 新井雅晴(13D) 西田 實(17B) 中村啓子(18E) 植木 謙(21D)  
日野純子(24H) 小野新祐(24H) 塚本忠保(24H) 新妻成一(35F)